

臨床検討会

NO	月／日	主 題	発表者
1152	2022/ 4 /18	治療成績報告＜膵癌＞	本間 祐樹
1153	2022/ 4 /18	治療成績報告＜肝移植＞	澤田 雄
1154	2022/ 4 /18	治療成績報告＜炎症性腸疾患＞	木村 英明
1155	2022/ 4 /18	治療成績報告＜乳癌＞	山田 顕光
1156	2022/ 5 /11	治療成績報告＜肝細胞癌＞	熊本 宜文
1157	2022/ 5 /11	治療成績報告＜大腸癌＞	石部 敦士
1158	2022/ 5 /11	治療成績報告＜胃癌＞	佐藤 渉
1159	2022/ 5 /11	治療成績報告＜転移性肝癌＞	武田 一永
1160	2022/ 5 /30	治療成績報告＜胆道癌＞	藪下 泰宏
1161	2022/ 5 /30	治療成績報告＜食道癌＞	小坂 隆司
1162	2022/ 5 /30	治療成績報告＜良性胆道疾患＞	菊地祐太郎

Morbidity and Mortality

NO	月／日	主 題	発表者
1029	2022 3/24	肝門部領域胆管癌に対するGCS療法開始後11日目での死亡症例	高橋 智昭
1030	5/19	SMA血栓症術後の上行結腸壊死に対して再手術を要した1例	中川 和也
1031	11/10	PD術後ガストログラフィン誤嚥に伴う間質性肺炎急性増悪の1例	三宅謙太郎

No.1029 肝門部領域胆管癌に対するGCS療法開始後11日目での死亡症例

(高橋 智昭)

症例は78歳男性。他院で前立腺癌に対するホルモン療法後フォロー中に黄疸を認め、精査の結果、肝門部領域を腫瘍の主座とする広範囲胆管癌と診断された。腫瘍の進展が十二指腸側は遠位胆管、肝臓側は前後区分岐部や、B2とB3の分岐部まで及び、局所進行による非切除胆道癌であったため、長期化学療法後のConversion surgeryを企図して、GCS療法を行う方針とした。既往歴に心筋梗塞でステント留置されていたが、心エコー所見ではEF>60%以上と心機能は保たれていた。GCS療法を開始後8日目ごろより嘔気、下痢を認め、10日目に予約外で当科外来を受診されたが、その際の血液検査所見では血清クレアチニン値が1.35mg/dLと、GCS療法施行時の0.77mg/dLと比し上昇していたが、血圧は126/70mmHg、脈拍89/minとバイタルサインに著明な異常はなく、

飲水は可能であったことから、細胞外液500mlを外来で補液しご帰宅された。しかし、翌朝、意識レベルの低下を認め救急要請されたものの、約1時間後に前医救急外来に到着された際には呼吸停止状態であり、その後心停止、心肺蘇生処置が施されたが自己心拍が再開することはなく、救命することができなかった。翌日に病理解剖を行ったが、肉眼所見、最終病理診断共に脱水初見を認めるものの明らかな死因は特定できなかった。今回、化学療法開始後に有害事象である下痢が契機もしくは一因となり救命に至らなかった症例を検討した。本カンファレンスでは、多剤併用化学療法開始時のフォローや有害事象に対する対応を、下痢を中心に改めて検討した。その検討を踏まえ、現在GCS療法の初回投与は入院で行い、減量して開始することとしている。

No.1030 SMA血栓症術後の上行結腸壊死に対して再手術を要した1例

(中川 和也)

症例は71歳男性。2日前発症の腹痛・下血のため救急受診し、上腸間膜動脈血栓症と診断された。血管造影を先行し、血栓回収と血栓溶解療法により中結腸動脈は造影されるようになったが、回結腸動脈(ICA)は造影されなかったため、緊急手術となった。トライツ靭帯から約100cmの小腸から上行結腸までの壊死が疑われた。ICG蛍光法で腸管の切離範囲を決定し、壊死腸管の切除と、回腸人工肛門・上行結腸粘液ろう造設術を施行した。術後3日目に上行結

腸壊死の診断で再手術：上行結腸切除と、粘液ろう再造設術を施行した。初回手術後48日目に転院となった。初回手術時のICG蛍光法での血流評価では上行結腸に大網が覆っており、適切に評価できていなかった可能性が指摘された。血管造影でICAの血流は認めなかったため、横行結腸近くまでの切除を想定した上で、術中ICG蛍光法で血流評価をしていれば、再手術は避けられたのではないかと反省した1例であった。

No.1031 PD術後ガストログラフィン誤嚥に伴う間質性肺炎急性増悪の1例

(三宅謙太郎)

症例は80歳男性。検診で肝胆道系酵素上昇を認め、精査の結果肝門部領域胆管癌（Bismuth type I）の診断で手術目的に当科紹介受診となった。間質性肺炎を併存していたが術前呼吸機能は正常であり耐術可能と判断し、切除の方針とした。手術は臍頭十二指腸切除術（PD-IV-B-2）、腸瘻造設術を施行した。臍胃吻合を施行していたため術後5日目に上部消化管造影検査を施行した。その際にガストログラフィ

ンを少量誤嚥し、翌日から呼吸状態悪化を認め、画像上間質性肺炎の急性増悪と診断。集中治療室で人工呼吸器管理下にステロイドパルス療法やステロイド内服を中心に治療を行ったが、呼吸状態の改善は認めず術後46日目に在院死亡となった。間質性肺炎は感染や挿管などを契機に急性増悪するリスクがあり、急性増悪例は死亡率が80%と高率であり、誤嚥予防などより慎重な術後管理が必要である。

主催学会・研究会・セミナー

Kanagawa Kampo Web Lecture

日 時：2022年1月12日（水） オンライン開催
特別講演：北里大学医学部上部消化管外科学
主任教授 比企 直樹 先生
「がん治療における栄養の役割」

YCU Gastroenterological Surgery Web Forum

日 時：2022年1月14日（金） オンライン開催
特別講演：防衛医科大学上部消化管外科
教授 辻本 広紀 先生
「外科侵襲における免疫不全状態とその対策 ～悪性腫瘍の予後との関連～」

ヘルニア教育セミナー

日 時：2022年1月24日（月） オンライン開催
特別講演：明理会中央総合病院外科
星野 明弘 先生
「非優位鉗子を活かしたTAPP法、そして技術認定医取得へ」

第94回 日本胃癌学会総会

日 時：2022年3月2日（水）～4日（金） 場 所：パシフィコ横浜（ハイブリッド開催）
会 長：横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター
國崎 主税 先生

消化器がんウェブカンファレンス

日 時：2022年3月9日（水） オンライン開催
特別講演：聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学講座
教授 砂川 優 先生
「テーマ 大腸癌薬物治」

外科/救急/AST 『Infection Web Seminar

～感染症からの救命/抗菌薬治療最前線～』

日 時：2022年4月25日（月） オンライン開催
特別講演1：千葉大学 真菌医学研究センター臨床感染症分野
准教授 渡邊 哲 先生
「最新トピックを踏まえた侵襲性カンジダ症の診断・治療について」

特別講演2：埼玉医科大学医学部感染症科/感染制御科
教授 前崎 繁文 先生
「腹腔内感染症の治療戦略」

第4回 横浜腸内フローラセミナー

日時：2022年5月12日（木） オンライン開催

特別講演1：滋賀医科大学医学部消化器内科

教授 安藤 朗 先生

「消化器疾患と腸内細菌のかかわり」

特別講演2：聖路加国際病院消化器・一般外科

部長 海道 利実 先生

「不可能を可能にした当院の周術期リハビリ栄養管理 ～仕事力は人間力～」

第10回 周術期合併症研究会

日時：2022年5月23日（月） オンライン開催

特別講演：慶應義塾大学医学部救急医学教室

教授 佐々木淳一 先生

「Damage Control Surgery (DCS) ～重度腹部外傷患者に対する集学的アプローチ～」

第77回 日本消化器外科学会総会

日時：2022年7月20日（水）～22日（金） 場所：パンフィコ横浜（ハイブリッド開催）

会長：横浜市立大学医学部消化器・腫瘍外科学

教授 遠藤 格 先生

第24回 横浜サージカルビデオフォーラム（LOOK & LEARN）

日時：2022年9月12日（月） ハイブリッド開催

テーマ：「癒着剥離」

座長：横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科

佐藤 渉 先生

横浜市立みなと赤十字病院外科

田鐘 寛 先生

コメンテーター：横浜市立大学消化器・腫瘍外科学

小澤真由美 先生

一般演題：横浜市立みなと赤十字病院 外科

大西 宙 先生

横浜市立大学医学部消化器腫瘍外科学

三宅謙太郎 先生

横浜市立市民病院 消化器外科

工藤 孝迪 先生（銅賞）

横須賀共済病院 外科

紫葉 裕介 先生（銀賞）

藤沢市民病院 消化器外科

河内 大倫 先生（金賞）

レクチャー：横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター

諏訪 雄亮 先生

「腹腔鏡下癒着剥離の極意」

横浜敗血症セミナーX

日 時：2022年11月7日（月） オンライン開催

特別講演：大阪急性期・総合医療センター救急診療科

医長 梅村 穰 先生

「日本版 敗血症診療ガイドランの舞台裏 –DIC診療の推奨と残された課題–」

第44回 神奈川術後代謝栄養研究会

日 時：2022年11月12日（土） ハイブリッド開催

特別講演1：神戸大学大学院医学研究科外科学講座肝胆膵外科学

助教 小松 昇平 先生

「外科医獲得にむけた神戸大学外科学講座の取り組み」

特別講演2：鹿児島大学大学院消化器・乳腺甲状腺外科学

特任講師 又木 雄弘 先生

「若手外科医を増やすための取り組み、勧誘の工夫」

特別講演3：新潟大学医歯学総合病院総合研修部

特任講師 磯部 真倫 先生

「人気N01. 新潟大学産婦人科臨床実習のすべて ～入局者増加への道のり～」

Yokohama Surgical Oncology Forum

日 時：2022年11月15日（火） オンライン開催

特別講演：東邦大学院消化器外科学講座・臨床腫瘍講座

教授 島田 英昭 先生

「胃癌化学療法の治療戦略 ～二次治療以降の薬剤選択について～」

CRC Expert Web Seminar 2022

日 時：2022年11月29日（火） ハイブリッド開催

特別講演1：東京医科歯科大学大学院 消化管外科学分野

教授 絹笠 祐介 先生

「大腸癌に対するロボット手術」

特別講演2：愛知県がんセンター 副院長 薬物療法部 部長

室 圭 先生

「大腸癌薬物療法の最新トピックと後方ライン治療の考え方」

Upper GI Immuno-Oncology Seminar

日 時：2022年12月5日（月） オンライン開催

特別講演：国立がん研究センター東病院消化管内科

医長 小島 隆嗣 先生

「食道がん治療 Up to Date ～一次治療の新たな幕開け～」